

伊万里 市議会だより

第17号

平成18年
(2006年) 4月



さわやかな試合、すばらしい応援 感動をありがとう！

(3月23日 春の選抜高等学校野球大会)

3月補正額：3,647万円

補正後の予算

一般会計：199億8,350万円

(対前年度同期△22億1,038万円、
△10.0%)

平成18年度当初予算

一般会計：175億8,200万円

(対前年度同期△11億5,200万円、
△6.1%)

特別会計：186億 659万円

企業会計：45億 375万円

平成18年伊万里市議会第1回定例会
会期日程

3月

開議時刻 午前10時
(10・17日 午後1時)

日	種別	内容
2(木)	本会議	開会 会議録署名議員の指名 会期の決定 市長提出議案43件・・・一括上程 市長提出議案の提案理由説明
3(金)	休会	(一般質問通告締切)
6(月)	本会議	議案に対する質疑
7(火)	本会議	議案に対する質疑 議案の常任委員会付託
8(水)	休会	特別委員会(交通網・港湾・企業誘致対策)
9(木)	休会	特別委員会(地域医療整備対策)
10(金)	本会議	一般市政に対する質問(中学校卒業式)
13(月)	本会議	一般市政に対する質問
14(火)	本会議	一般市政に対する質問
15(水)	休会	常任委員会
16(木)	休会	常任委員会
17(金)	休会	正副委員長会(小学校卒業式)
22(水)	本会議	意見書案1件・・・上程 意見書案に対する質疑 常任委員会報告 常任委員会報告に対する質疑 特別委員会報告 特別委員会報告に対する質疑 議案の付議順序により討論、採決 閉会

議会ホットコーナー

「プルサーマル計画受け入れに対する慎重な判断を求める意見書」を可決

玄海原発におけるプルサーマル計画については、未だ県民の理解は不十分であり、不安を払拭する努力が求められている。関係住民、自治体などへの丁寧な説明と議論が重ねられ、より慎重な判断がなされるよう、佐賀県知事に対して求める。

◎地方自治法第99条の規定により、議会は当該地方公共団体の公益に関する事件について意見書を国会または関係行政庁に提出することができます。

◎8人の議員が連名で提案し、複数の賛成・反対討論がありました。採決の結果、賛成多数で可決。討論の内容については、会議録(6月頃に完成予定)をご覧ください。



定例会会期日程・議案質疑など

議案質疑

伊万里湾大橋球技場のトイレ

質問 仮設トイレのようなモノが数基設置されているが、特に大会時には数が足りないのではないかと。

答弁 教育部長

地盤の関係で本格的な工事が出来ないため、仮設式のトイレを設置している。数は「自然公園等施設整備技術指針」などに準拠して、男性用4基、女性用3基、車椅子対応トイレ1箇所を設置している。大きな大会等の場合は、仮設トイレを設置するなどして対応する考えである。

パスポート交付事務

質問 県からの権限移譲により、7月から伊万里市民は伊万里市役所で交付が受けられるようになり幸いである。しかし例えば勤務の関係で、市役所ではなく県庁のパスポートセンター等で交付を受けたい場合にも可能とするための協議結果は。スタート後に混乱が無い様に配慮を。

答弁 市民部長

申請は代理でも可能だが、交付は本人が出席が必要がある。権限移譲を受けると、本来市民は市役所での交付が原則となるが、「県庁パスポートセンターで申請をし、そこでの受け取りを望む場合は可能」との説明を受けている。7月の開始前にPRに努めたい。

新病院整備可能性調査 報告書 (概要より抜粋)

平成17年9月議会において、中核的病院整備について可能性調査を行う予算(340万円)を可決、コンサルタントへ委託していた報告書が提出されましたので、ここにその概要を掲載します。今後、これをもとに検討がなされます。

なお、報告書は市役所1階市民情報コーナー、市民図書館にて公開されています。

項目	内容
新病院の方向性	①病床数204床、診療科目16科、地域医療支援病院をめざす ②三大生活習慣病(癌・脳血管疾患・心臓)対応のセンターをもつ ③腎疾患に対応でき、将来的には、透析センターを開設できる ④今後の国の政策に共鳴できる生活習慣病予防健診センターを開設し、市民の個別医療相談に乘るオーダーメイド医療を実施する ⑤24時間対応(救急含む)・ネット・FAX・TELで、いつでもどこからでも個別に対応できるネットワーク機能を充実する
診療科目の設定	市民病院・社会保険病院既存13科に3科を加え、手術に強い病院をめざす16科(内科、呼吸器科、消化器科・循環器科・小児科・外科・整形外科・眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科・肛門科・リハビリ科・放射線科・脳神経外科・泌尿器科・麻酔科)
規模の設定	既存13科での入院需要予測は154床。これに新設する3科分を加えて204床が可能
敷地面積	20,000㎡
施設規模	※204床：16,320㎡、176床：14,080㎡(1病床あたり80㎡で計算)
総事業費	204床：67億6,630万4千円、176床：60億1,801万6千円
運営形態と課題	(1) 公設公営(直営) ①一般的に人件費比率が高止まりになる傾向にあり、人件費の抑制に配慮する必要がある ②新たに多数の医師・看護師等の病院職員を雇用する必要がある (2) 公設民営(委託)：地方独立法人/PFI/指定管理者 ①市の基本方針に基づき、病院経営を引き受ける医療法人の受け皿確保の必要がある ②公設民営に移行するにあたり、現市民病院の債務を清算する必要がある ③経営効率を優先し、政策的医療など不採算医療分野が切り捨てられる可能性がある
事業収支計画	(病床規模・設置運営形態別に10年間の見通しが立てられています)
新病院の設置運営形態については、それぞれに課題があり、新病院の使命である救急医療や高度医療、また不採算医療といわれる分野などの医療サービスを安定的に提供することを前提として、今後十分な検討が必要です。	

委託先：(株)日本コンサルタントグループ

総務委員会

★所管 総務部、政策経営部、市民部(戸籍・住民登録等)、会計課、消防本部、選挙管理委員会、監査委員、他の委員会に所属しない事項

委員間に付託されました、9議案について審査の結果、全議案原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

国民保護法（武力攻撃事態等における国民の保護のための配置に関する法律）関連条例

国民保護法は、武力攻撃を受けた場合（武力攻撃事態等）や大規模テロが発生した場合（緊急処理事態）に国や県、市町村等が住民や財産等を守る仕組みを定めたもので、同法の定めに基づいて、今回伊万里市における対応を図るための組織・運営等を定める条例が制定されました。

市職員の給与等に関する条例の一部改正人事院勧告に準じて本年4月から給料表を4.8%引き下げ、給料表が9段階から7段階に変更されます。内容的には若手の係員層の引き下げは行わず、中高年層を抑制した内容

となっています。H16年6月から実施されている、期末勤勉手当の削減率は2.5%から1.5%になります。

また国家公務員退職手当法の改正に準じて、市職員の退職手当条例も改正されます。

予算関係議案

H17年度一般会計補正予算（第8号）は3,647万2千円が補正され、歳入・歳出の予算総額は199億8,349万9千円。H18年度一般会計予算は市長選挙に伴い、骨格予算となり、歳入・歳出それぞれ175億8,200万円となっています。



7月から市役所で
交付事務が始まる
パスポート

◎浜野 義則 ○川内 学 黒川 通信 草野 謙
樋渡 雅純 渡邊 英洋 内山 泰宏

文教厚生委員会

★所管 市民部（保健・福祉・環境・人権同和）、教育委員会、市民病院

付託された条例議案3件、平成17年度補正予算4件、18年度当初予算5件について審査の結果、可決すべきものと決定しました。

順次整備を進めてきている留守家庭児童クラブは、新年度から黒川児童クラブ（専用施設）、波多津東児童クラブ（幼稚園で実施）が加わり、合計11小学校区での開設となります。介護保険は3年毎の見直し時期に当たり、第1号被保険者の保険料額を改定するとともに、法改正により保険料段階が細分化されます。地区ごとに説明会が開かれていますが、制度が分かりにくいいため、委員会では市民へのより丁寧な説明を要請しました。どうぞ「出前講座」をご利用ください。

新年度予算は、市長選挙に伴う骨格予算（主に義務的経費のみ計上）であり、当委員会所管の民生費・衛生費・教育費などは軒並み

マイナスの予算となっています。昨年度の予算と対比しながら、今後の補正についての考えかたについての説明を受け、議論しました。

2年間での建設となった障害児発達支援センターひまわり園は、まちづくり交付金の対象となり、9,500万円余りの予算により法務局跡地に建設予定で、保護者や大学の専門家などとの協議を重ねながら準備が進められています。年次的に取り組んでいる学校のプール改修は、大川小学校で実施します。また学校への空調整備は、最後に残った大坪小・大川内小のパソコン室と図書室、伊万里中の図書室への整備を実施します。



黒川留守家庭児童クラブ

◎堀 良夫 ○盛 泰子 前田 久年 前田 教一
岡口 重文 原口 弘 下平 美代

産業経済委員会

★所管 産業部、農業委員会

本委員会に付託された議案は、条例の一部改正3件、指定管理者の指定1件、予算関係3件の7件でしたが、慎重審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

条例の一部改正は、事業の完了に伴う中山間地域振興基金の廃止、農林漁業振興共同化資金利子補給及び損失補償条例の一部改正、漁港管理条例の一部改正であります。

指定管理者の指定は、眉山ふるさと館に大川コミュニティ運営委員会を指定するものであります。

予算関係では、17年度一般会計補正のうち農林水産業費で主なものは、中山間地域等直接支払い交付金の確定による1,118万1千円の減額、有害鳥獣対策で39万4千円を増額、商工費で主なものはバス路線運行事業で5,439万9千円を増額するものであります。

新年度予算では、一般会計で労働費は、労働金庫への預託金7千万円など7,053万7千

円（前年比1.5%減）、農林水産業費は、国営伊万里土地改良事業に9,788万6千円、新たな米政策事業に207万9千円、魅力あるさが園芸農業確立対策に2,088万8千円など5億664万9千円（前年比44.1%減）、商工費は中小企業振興資金対策に1億7,017万9千円、イマリンビーチ管理運営に995万円など3億643万4千円（前年比25.0%減）が計上されています。災害復旧費のうち農林水産施設災害復旧費の計上はなく、前年度比全減であります。

市営駐車場特別会計は、歳入歳出の総額は1,636万7千円（前年比6.3%減）であります。



眉山ふるさと館（大川野駅）

◎高木 久彦 ○貞方 喜延 山崎 秀明 山田 悟
 笠原 義久 岩橋 紀行 樋渡 伊助

建設委員会

★所管 建設部、水道部

当委員会に付託されました条例議案5件、一般議案2件、補正予算議案3件、当初予算6件について、慎重に審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

議案第47号平成18年度伊万里市水道事業特別会計について（波多津簡易水道事業）

(1) 事業計画

①事業名：簡易水道再編推進事業（統合簡易水道）②事業年度：平成18年～20年度③事業費：11億5千万円（国庫補助1／3、簡易水道事業債2／3）④給水戸数：550戸、給水人口1,900人⑤施設概要：取水施設・浄水施設・送水施設・配水施設・送配水施設

(2) 平成18年度事業計画

取水施設・配水管布設・消火栓設置などの事業に取り組みながら、3ヵ年事業で新たな水源を利用して水質問題解消と、東部地区における未普及地区への拡張を行うものであります。

なお、工業用水道事業については、誘致企業の工場増設に伴い、工業用水の給水が逼迫している。今後、大幅な工業用水の需要増が予想されることから、工業用水の水源確保について極力努力するよう要望しました。



歩道設置が進む黒川松島線

◎福田 喜一 ○満江 洋介 島田 布弘 前田儀三郎
 占野 秀男 田中 啓三 岩本 盛房

交通網、港湾、企業誘致対策調査特別委員会

特別委員会報告

1 西九州自動車道の整備について

西九州自動車道、唐津道路の浜玉インターから唐津インター間延長6.6kmが昨年12月18日に開通した。この開通は佐賀県北部地域では初めてで、開通区間は暫定2車線の部分供用である。又鹿家インターから浜玉インター迄3.8kmについては平成21年度開通を目標に事業が進められている。

1 唐津伊万里道路について

唐津市域においては松浦川を渡る橋梁下部工の工事に着手され、千々賀山田インター（仮称）で地元関係者との設計協議が昨年12月に完了し現在用地幅杭設置が行なわれている。伊万里市域でも伊万里東インターの設計協議が終了し、幅杭設置が行なわれ谷口インターは設計協議中ながら、重橋、谷口地区は既に終了している。また井手野地区など用地補足調査が終了し、1月から用地買収が行なわれている。

1 伊万里道路、伊万里松浦道路について

伊万里道路については本年8月の都市計画決定を目標に環境影響評価書の作成が進められており、松浦道路については昨年9月都市計画が決定され地元の了解を得て路線測量に着手されている。

1 一般国道について

国の「ちゃくちゃくプロジェクト」改築事業として国道202号の南波多町水留地区で岩盤斜面の落石崩落等、危険箇所回避の改良工事が行なわれている。平成17年度は北波多トンネル等の工事が進められており平成19年度供用開始予定である。また、交通安全事業として井手野、小麦原地区歩道設置事業と二里大橋交差点改良事業が行なわれており18年度供用開始を目指している。

1 港湾整備について

昨年3月、伊万里港港湾計画が船舶の大型化に対応するため、既存のマイナス10mからマイナス13m岸壁に増深され、臨港交通体系の強化、より良いアクセスの確保また臨港道路七つ島線の計画など具体的な改訂が行なわれた。

1 企業誘致について

この一年の成果については、名村造船の拡張に伴い関連企業も拡張増設をされ、特に本年2月には佐賀大学エネルギー研究センター関連企業の（株）ゼネシスの進出が決定している。

◎前田 教一	○山田 悟	山崎 秀明
岡口 重文	内山 泰宏	樋渡 伊助
岩本 盛房	満江 洋介	福田 喜一

地域医療整備対策調査特別委員会

1 新病院整備における経過について

市民病院と浦之崎病院の統合を中心に、中核的病院整備における協議等の経過について説明を受けた。病院統合についてはこれまで浦之崎病院との事務レベルでの研究会や医局間での意見交換が行われ、社会保険庁改革法案の状況把握、病院譲渡の条件等について交渉がなされ譲渡協議依頼書が提出されている。

全国53の社会保険病院は国が策定する整理合理化計画により3形態に分類され売却を含めて新しい経営形態に移行することになっている。浦之崎病院が国の合理化の中で3形態に振り分けられる前に譲渡協議を行っていくことが重要となってくる。

2 「新病院整備可能性調査」について

「新病院整備可能性調査」については、1月31日報告書が提出され、2月22日委員会で説明、

意見を受けた。新病院の方向性としては既存の診療科目13科に脳神経外科や麻酔科等の3科目を加え、病床204床、手術に強い専門的外科病院、地域完結型の病院を目指すことが提案されている。

3 今後の病院整備に向けて

一定の病床規模が確保できれば、中核的病院の具体的構想へとなるわけだが、国の見解としては、病床のみの譲渡はあり得ず、病院施設を一体とした譲渡であること等。慎重な検討を重ねられることを望む。また、市民の声、医師会等との協議の上、方向性を明確にしていくよう努められたい。

◎下平 美代	○前田 久年	樋渡 雅純
川内 学	堀 良夫	高木 久彦
笠原 義久	田中 啓三	浜野 義則

一 般 質 問 (質問順)

議員名	質問事項	議員名	質問事項	
前田 久年 (総括)	1. 通学路の安全対策について (1)各町の子ども見守り隊の進捗状況について (2)継続して運営していくための手立てについて (3)これからの学校教育について 2. 新学校給食センターについて (1)新学校給食センターの職員構成について (2)学校における食育の推進について (3)学校給食における地産地消の推進について 3. グリーン・ツーリズムの推進について	福田 喜一 (一問一答)	1. 公共施設内での福祉サービスについて (1)手話通訳のできる職員の配置について (2)市民会館のトイレの改善について 2. 障害者等福祉施設用地(大坪町辻の前地内)の今後の整備について 3. いまりんバスの路線の再検討について 4. 有線テレビ網の拡張について	
	堀 良夫 (一問一答)		1. 本市消防行政について (1)小規模消防本部統合による広域再編の推進について (2)旧福島町が本市に委託している消防業務解消方針による諸課題について ①松浦市・伊万里市との相互応援協定強化の可能性 ②現在の活動分担区域等(人員・車輛等)について (3)消防機械施設整備計画 (4)老人福祉、障害者授産・作業所等、各施設の安全管理・指導について 2. 伊万里地区高校再編計画について (1)伊万里地区新高校整備推進委員会における検討状況 (2)伊西地区高校への志願状況 3. 新給食センター整備状況について (1)実施計画における維持管理について (2)統合整備計画に伴う食材供給について (3)新給食センターへの移行準備、並びに職員配置計画について	1. 子育て支援の充実に向けて (1)病後児保育への取組み (2)保育サポートへの取組み 2. ミニ公募債について (1)2003年9月答弁以降の検討状況 (2)今後の方向性 3. AED(自動体外式除細動器)の配備に向けて (1)老人センター、国見台等への配備を 4. 原発10キロ圏問題について (1)県に対して風評被害を最大限回避するための要請を
下平 美代 (一問一答)		1. 小・中学校の管理職の広域人事について (1)教育の機会均等について 2. 独居老人等の緊急連絡網作成について	岩橋 紀行 (一問一答)	1. 七ツ島工業団地内のレシード油施設について 2. いまりんバス運行の見直しについて 3. 水道料金について
		田中 啓三 (一問一答)		1. 工業団地におけるインフラ整備について (1)工業用水について (2)道路整備について 2. いまりんバスについて
岡口重文 (一問一答)	1. 農業振興策について (1)食料・農業・農村基本法の見直しと伊万里市「明日を築く農業・農村活性化プラン」の今後の方向性 (2)担い手(後継者、新規就農者)育成について (3)環境保全型農業(宝の水活用)について	前田儀三郎 (総括)	1. 「認定こども園」の取り組みについて 2. うつ病、自死(自殺)防止対策について	

通学路の安全
対策について

前田 久年

質問 町防犯協会を主体として、子ども見守り隊が編成された。色々な面で課題があると思うが今後地道な活動に従事する住民の参加が、かぎになると思う。継続して運営していく為に市の考えは。

答弁 教育部長

健全な育成は社会の責務であり、地域の子どもは、地域で守るといふこの活動を防犯協会・育成町民会議等を通じてご理解を頂き、多くの市民の皆様にご協力をたまわりたい。

新学校給食センター
について

質問 地元の食材を使う事は、食べ物や生産者への感謝の心を育み地元の産物、地元への愛着をもつことになり、地域の農業を支え食料自給の維持向上にもつな

がると思う。地産池消の取り組みについて。

答弁 教育部長

米については地元産が直接納入出来るか農協に打診をし、前向きな検討を頂いた。これから地産地消の推進についての意見を反映させるために、新たな学校給食運営組織の中に農業団体の代表者にもお願いする。

グリーン・ツーリズム
について

忙しい毎日を通す都市住民の中には「田舎暮らしを望む人が出てきたり」農村体験が子どもの情操教育にも効果があるといわれはじめ、「グリーン・ツーリズム」への潜在的な欲求が高まってきたが、市としての取り組みについて。

答弁 市長

グリーン・ツーリズムは国レベルでも推進をされており事業として取り組むには、今が好機であると思う。住みたい町伊万里の実現をめざす本市にとってはまさに有効かつ現実的施策として、取り組んで行きたい。

本市消防行政
について

堀 良夫

質問 小規模消防本部統合による広域再編の推進について。

答弁 消防長

消防庁は今後の人口減少、地域の消防力強化を図るため、管轄人口10万人未満の小規模本部を統合し広域再編の枠組みを盛り込んだ消防組織法の改定案が通常国会に提出される見込みである。

質問 旧福島町が本市に委託している消防業務解消方針による諸課題について。

答弁 消防長

福島分署解消は本市北部地域の消防力低下につながり、松浦市が要望する伊万里市との管轄を越える相互応援協定は通常、大規模災害対応策として結ばれるもので今後協議を進めてまいりたい。

質問 消防機械施設（はしご車・消防団積載車等）整備計画について

答弁 消防長・市長

はしご車は経過年数からオーバーホール整備が必要であり、積載車については緊急性を要する車輛から制度事業等を検討し更新計画を図りたい。

伊万里地区高校再
編計画について

質問 伊万里地区新高校整備推進委員会は県教委が示した組織図に、地元市長、PTA等、広く地元関係者の意見や要望を聞くときれているが状況について。

答弁 教育長

同委員会は、平成17年度6月、12月の2回開催されており、平成17年2月の専門高校等、再編計画発表以降、地域説明会、意見等聴取は行なわれていないのが実情である。

今後、県教委へ地元意見等にご配慮いただくよう申し入れをしたい。

管理職人事の
広域人事について

下平 美代

質問 学校は地域住民にとって最も身近なコミュニティの拠点であり、地域防災拠点としても重要な役割を果たしている。管理職のあまりにも遠隔地からの広域人事は無理が多いと思うが、①広域人事の現状 ②広域人事の教育上の利点 ③管外からの管理職が一定の学校に集中している理由 ④校長・教頭先生共に管外からの人事は、県に具申すべきではないか。

答弁 教育長

管理職の人事権は県教委にあり、内申は地教委が行い、適材適所の観点で行っている。①管外からの校長、中学校3名、小学校5名、教頭中学校2名、小学校5名。②他地区からの新しい風が吹きこまれマンネリ化を防がれる。③通勤距離のこともあり通勤時間の配慮

一般質問

からと思われる。④校長・教頭共に管外からの人事は極力さけてもらおうように県に具申している。希望をもつて見守って欲しい。

一人ぐらし等の高齢者の連絡網作成を

質問 伊万里市内でも緊急連絡を必要とした孤独死の例もあり連絡網の必要性を地域も求めている。①一人ぐらしの数 高齢者のみの世帯 ②民生委員さんや区長さんの協力を頂きながら連絡網（家庭に貼布できるもの）の作成を。

答弁 市民部長

①一人ぐらし1373人 二人世帯 1756 ②連絡網については、一人ぐらしの方の安心安全の一つの方法として、家族の了解・民生委員さん等の協力を得て取り組んでいきたい。

工業団地のインフラ整備について

田中 啓三

質問 工業用水の確保について、伊万里市の対策は。

答弁 市長

誘致企業の急速な工場増設等に伴い、工業用水の需要見込みが、大幅に増加して来ており、余裕量が無い現状にある。

今後は、県と連携を密にしながら、開発の場所、手法、水量等あらゆる面から検討し、早期の発表ができる様、努力していく。

質問 臨港道路七ツ島線の早期着工に向けての、伊万里市の対応は。

答弁 市長

2月27日・28日に九州整備局と知事に対し、要望活動を行い、国、県も積極的であり、必要性についても理解されている。現在の204号の朝夕の

交通渋滞も承知しており、今後も、伊万里市として、国と県に対して要望活動を行っていききたい。

いまりんバスについて

質問 運行から一年が経過し、今後の経路等の見直し計画について。

答弁 市長

アンケート調査を実施した結果、増便、エリア拡大、ルート変更、公的施設への巡回等の意見があったが、今後、ルートの見直し、バスの増便も視野にいれて財政的な事も考慮しながら、検討委員会で議論していく。



農業振興策について

岡口 重文

質問 食料・農業・農村基本法の見直しと伊万里市「明日を築く農業・農村活性化プラン」の今後方向性は。

答弁 産業部長

パブリックコメント後、今年4月末を目度に、新たに農業経営基盤強化の促進に関する基本的な構想を計画し、より具体策を講じるようにしたい。

質問 担い手（後継者・新規就農者）育成について。

答弁 産業部長

基幹産業の重要な発表の人我であり、JAや国県関係機関と連携強化を図り、本腰を入れてバックアップをしていきたい。

質問 環境保全型農業（宝の水活用）について。

答弁 建設部長

農業集落排水処理施設内でEM菌（有用微生物群）倍養の汚泥水の効能を活かし、全国にも類のないモデル的な事業に今後検討していきたい。



一般質問

手話通訳のできる
職員の配置について

福田 喜一

質問 現在は市の福祉課には聴覚に障害がある人の為に手話通訳の職員を一人配置されているが、行政が運営をしているほかの施設への配置を。

答弁 総務部長 市長

このような仕事は庁外でも必要と思うので聴覚障害者の方々のコミュニケーションの為に行政として必要と思う。今年度から職員研修の一環として取り組みたい。

質問 市民会館のトイレの改善について。

答弁 総務部長

庁内関係部署で改善検討委員会を設置している中で、同委員会の結論が出ればそれに従う。

質問 障害者等福祉施設用地（大坪町辻の前地内）の今後の整備について。

答弁 市長

この残地の活用について

ては花壇や実習農場などに、作業所で前向きな取り組みがあれば、それぞれの施設との協議の場をもうけて実際の利用の方法を検討したい。

いまりんバスの路線
の再検討について

質問 いまりんバスの運行開始から早や一年以上を過ぎたところであるが、現在の路線を見直して、福祉の面から考えても上伊万里の身障者作業所や養護学校方面へ通すべきと思うが今後の対策は。

答弁 市長

一台では要望に答えることは大変困難であり、市民図書館や上伊万里方面への考えはあるが、現在の一台ではと思う。今後財政状況を見極めながらあと一台の検討もしたい。

質問 有線テレビ網の拡張特に滝野について。

答弁 総務部長

CATVの拡張について国の制度事業はある。地元負担が必要であり地元と協議をしたい。

子育て支援
の充実策

盛 泰子

質問 ①病後児保育②時間単位で子どもを預かる「保育サポーター」への取り組み状況。

答弁 市民部長

①市民病院小児科再開時には取り組めるよう準備を進めていたが、必要性は十分に理解するので、開設へ向け、どこでどのような形で行うか、地元医師会と協議をしたい。②21世紀職業財団の養成講座を受講された市内20人の力をお借りすると同時に、実現へ向け、市としてもサポーターの掘り起こしをしたい。

AED配備に
ついて

質問 緊急時に心臓へ電気ショックを与え救命するための*AEDの公共施設への配備を。

答弁 市民部長

県は県有施設へ来年度配

備を計画しているが、その基準では市内90施設が該当する。講習も含め取り組みたい。

答弁 市長

必要と考えられる施設を明確にし、配置していく。

原発10キロ圏問題

質問 玄海原発で小さな事故が発生した場合、伊万里市で一番懸念されるのは風評被害である。佐賀県の地域防災計画では、伊万里市への対策が明記されておらず、万一風評被害が発生した場合に農畜産物や観光への影響が予想される。鳥取県の計画のように10キロ圏外であっても対策をとることを明記するよう、佐賀県に要請すべきだ。

答弁 市長

県の説明では現計画でも伊万里市への対策は取るの事だが、キッチンと文章の中に「伊万里市」を明記できないか申し入れをする。（二問省略）

七ツ島工業団地内のレ
シード油施設について

岩橋 紀行

質問 この施設について昨年の9月議会で質問したものの、完工以来、長期に渡り放置されている。県は伊万里市の意向を踏まえ、公共埠頭用地の原状回復をすべきである。その後、国の動きはどうなっているのか。

答弁 産業部長

平成12年に県はこの施設の使用許可取り消しをしたが、社長が異議申し立ての棄却を不服とし、国に対して棄却処分に対する審査請求を行った。審理に時間を要したうえ、昨年12月に請求は棄却され、社長は昨年の2月に軽油引取税の脱税容疑で再逮捕され、現在服役中。

質問 県は伊万里市に対して十分な説明をすべきでは。

一般質問

答弁 産業部長
港湾管理者である県と協議をして早急に取り組みたい。

質問 社長が服役中で罰金も科せられ、税の滞納もあり施設を撤去するだけの資力もないと推測されるので期限を切つて解決すべきではないか。

答弁 産業部長
いずれにしても、港湾施設の適切な利用を図ることからも来年度までには積極的に県にも働きかけたい。

いまりんバス運行の見直しについて

質問 運行開始以来、1年を経過したがコース等の見直しをするのか。

答弁 産業部長
アンケート調査もした。検討委員会で協議する。

水道料金について

質問 料金改定はあるか。

答弁 水道部長
考えていない。

今後の農業の死活問題である認定農業者政策について

草野 謙

質問 政府は19年度から新たに始める「品目横断的経営安定対策」を実施し、担い手農業者を主体とした強化支援策を打ち出したが、各農家への取組み説明と対策は。

答弁 産業部長

市内の生産組合長に説明を行い、J Aも全農家に経営座談会を通じ説明と理解を求め、個人で4 haの面積を有する事が出来ない農家へは、集落営農組織作りを指導している。

質問 認定が出来なかった、農家と集落は今後どのようなになるのか。

答弁 産業部長

今回の農業政策は担い手を重視した強化支援策であり、集団化し農地を集積した本格的農家を育てる事が目的である。

質問 食のまちづくり宣言を行っている本市が、市内の生徒に食育教育を取組む計画は。

答弁 政策経営部長

教育部長

食の大切さを子供達に教える為、本市は食のまち作り推進計画を策定中である。その中で食の安全安心と感謝の心を忘れず、健康にも配慮した内容等を盛り込む計画である。

質問 市内の歴史や文化財

等数多くのお宝が伊万里にはあるが、それら生きた教材を活用して、郷土愛教育と言う事で生徒達に取組む計画は。

答弁 教育長

郷土を愛する子供達の教育には先ず教師がと云う事で教師の郷土学研修会をH15年から取組み、年間数回開催している。生徒達にも地元の遺跡や歴史的文化財等、取上げ郷土愛を持った、故郷を誇れる人間に育つ様指導していく。

「認定こども園」の取組みについて

前田 儀三郎

質問 親の就労の有無で利用の動きが変わってきた。幼保一元化で幼稚園と保育園の2つの機能を融合した総合施設のことで質問する。

今年の10月より施行とあるが、伊万里市の考えは。

答弁 市民部長

佐賀県内の川副町がモデル地区で取り組んだ経緯があるが佐賀県の方針が示されてから検討したい。今後の課題として、伊万里市に取って一番良い方法を考えたい。

答弁 市長

今国会に、提案されている「認定こども園」仮称については、国が定める指針を基に県が認可する事業であり、今後、方針が決定すれば伊万里市に最も相応しい方法で考えていきたい。

うつ病・自死（自殺）防止対策について

質問 全国で、交通事故死の3〜4倍の数で自殺者が

増えている。国も地方自治体も早々に取組む大きな課題ではないかと思いい、一般質問に取り上げた。自殺は本人にとっても痛ましい事だが、残された家族に取っても計り知れない痛手を負うことになる。相談窓口は保健所となっているが、伊万里市の取組みについて質問する。また塚部市長の考えは。

答弁 市長

「うつ病・自死（自殺）防止対策については」早期発見・早期対策と心のケア、また、プライバシーの保護。専門医による助言など、また、残された家族への配慮等が重要とかがえていく。

平成17(2005)年 行政視察受け入れの状況 (上半期)

月	来訪議会名	人数	視 察 項 目	
1	北海道紋別市議会	5	新商品等開発支援事業、男女協働参画基本計画	会
	長崎県長崎市議会	1	有害鳥獣対策、農地情報システム	個
	広島県府中市議会	7	地場産業・特産物、「伊万里鍋島ギャラリー」地域イントラネットの整備	会
	三重県鈴鹿市議会	3	伊万里はちがめプラン	会
2	広島県廿日市市議会	8	議会だより	委
	兵庫県三田市議会	4	鍋島藩窯公園整備事業	会
	山口県防府市議会	9	市民図書館	会
	京都府久御山町議会	7	駅周辺土地区画整理事業	委
	三重県桑名市議会	8	学校給食センター整備事業	会
	愛知県豊明市議会	1	行政改革	個
	石川県羽咋市議会	5	駅前再開発事業	会
	福岡県行橋市議会	9	議会だより	委
5	鹿児島県指宿市議会	1	伊万里はちがめプラン	個
	茨城県高萩市議会	8	行財政改革	委
6	埼玉県狭山市議会	1	市民図書館	個
	岡山県鴨方町議会	6	H13年6月の河川等災害関連事業の対応	委
	北海道土壌町議会	5	木材の活用と森林保護活動	会

※ 人数は、議員のほか随行者も含まれます。

※ 「委」は委員会、「会」は会派、「個」は個人での視察を意味します。

※ 多くの場合、伊万里市内に宿泊されています。伊万里市議会も出来るだけ視察先の自治体に宿泊するように努めています。



いまり夢みさき公園開園式



伊万里湾大橋球技場開場式

印刷 山口印刷株式会社

編集 市議会だより編集委員会

E-mail: yikai@city.imari.lg.jp

電話 0955-221-1277

0955-231-2111

伊万里市議会

伊万里市立花町二五五

発行

◎盛泰子、○樋渡雅純、
山田悟、貞方延喜、満江
洋介、(顧問) 島田布弘、
原口弘

伊万里市議会だよりが
独自性のあるものとなり
ますよう、今後も努力し
たいと思いますので、ご
感想をお寄せください。

「県内7市」が、いよ
いよ10市となりました。
町同士の合併で誕生した
市もありますが、町議会
では議会だよりの全国表
彰もあり、鋭意取り組ま
れています。

編集後記

